

# YOU&あい

大田原国際は交流会 International Friendship Association

発行責任者 後藤 秀雄

International Friendship Association International Friendship Association International Friendship Association International Friendship Association International Friendship Association International Friendship Association International Friendship Association International Friendship Association

## ジョイントコンサート開催

大田原国際交流会会長 後藤 秀雄

大田原国際交流会は『世界に広げよう友達の輪』をスローガンに活動して、創立 32 年になるところであります。今回開催した『第28回那須国際交流フェスティバル 2018』は東京江戸川区ホームスティクラブのご協力により、オーストラリアのワタラ少女合唱団をお迎えし、黒磯高校合唱部及び那須野が原少年少女合唱団の御協力を頂き、ジョイントコンサートを音響効果の素晴らしい『那須野が原ハーモニーホール』で開催したところです。

最近の世界情勢は、6月12日に世界中が注目していたアメリカ・トランプ大統領と北朝鮮のキムジョンウン労働党のトップ会談が行われ、さらにロシアで開催されたサッカー・ワールドカップの日本チームの活躍など、感動されたことと思います。



また国内においては、異常なまでの高温や豪雨による被害が続き、西日本では 200 人の死者が出るなど多くの犠牲が生じ、哀悼の意を表したいと思います。行方不明者が多いため未だに被災地の復興が出来ない状況にあります。このような状況の中ではありますが、先日はオーストラリアの合唱団を迎えて『ジョイントコンサート』を開催し来場者と共に音楽を通して地域の方々とい

れあい、互いに理解を深められ楽しい交流がはかられたのではないのでしょうか？

来客の多くの方々により、『素晴らしいコンサートでしたね』との声を聞くと、主催して良かったと感激しております。これは、会員はもちろんのこと、オーストラリア・ワタラ少女合唱団はじめ、黒磯高校合唱部、那須野が原少年少女合唱団の方々の御協力によるものと感謝申し上げます。特にコンサート開催にあたり、江戸川のホームスティクラブの方々の御協力に対し心より感謝申し上げます。

翌 15 日は、ワタラ合唱団の団員と共に那須登山を実施して、牛ヶ首の分岐点から紺碧の空と流石山・大倉山の稜線の美しい眺望に団員の皆さんは感動していました。また、帰りにはスタンドグラス美術館や、セントミッシェル教会にて出演しました。一般の入場者にも鑑賞してもらおうなど団員にとって、心に残る音楽の旅となられたことと思います。

今後も、このような『那須国際交流フェスティバル』のイベントを積極的に開催し、地域に貢献出来る組織として活動していきたいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。

。。「異文化交流江戸川ホームスティクラブ」からの便り（代表 池尻 敦子 〒34-0081 江戸川区北葛西 4-4-2-104）。。  
猛暑の中、お疲れは出ていませんか？ この度はご多忙の中、たいへんお世話になりました。素晴らしい企画と温かいおもてなしに心から感謝申し上げます。ワタラ合唱団から来日希望の連絡を受けてから、約一年掛けて準備させて頂きました。病人もけが人も出ることなく、16日無事に成田まで送り届けることが出来、感無量でございます。これも全て皆様方のお力とっております。大田原の方々との出会いは、最高の思い出になったと思います。ワタラからも早々に“本当に楽しかった”とお礼のメールを頂きました。私にとっては、素晴らしい大田原の皆様と出会えたことが宝です。微力な私ですが、今後ともこの絆を大切に、未永く変わらぬ交流をさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。……………以下略

## 第28回国際交流フェスティバル2180

7月14日（土曜日）

那須野が原ハーモニーホール  
において、式典及び  
ワラタ少女合唱団、  
黒磯高合唱部、  
那須野が原少年少女合唱団の  
演奏の後、  
大田原生涯学習センターで  
懇親会が開かれ、交流を深めました。



### 会後の講話 インドと日本

パラピ カンヘレ（インド）

昨年日本語検定1級を取得したというパラピ カンヘレさんはインドの美しいパンジャビブという衣装で、日本について感じていることや、ご自身の生活について話してくださいました。私は会社で、インド語と日本語の通訳者として、働いています。仕事の他にも日本の生活で経験したことで、印象に残ったことを話したいと思います。



#### 驚いたことがいろいろあります

- ・刺身やサラダのように自然の物を生でそのまま食べています。私も美味しく食べています。
- ・日本人は小さな子供でも箸を上手に使って食べるので、びっくりしました。
- ・言葉では、インドは地域ごとに違う言葉なので、通じないことが多いが、日本は共通語があるので、全国どこでも通じます。
- ・ドラマなどでは、会社から帰るときに「お先に失礼します」「お疲れ様」などと言うが、実際に現場でそう言ってます。
- ・日本では夕方お風呂に入るが、インドでは朝入ります。

私は、趣味として日本語を始めました。今では日本語が大好きなのでキャリアとして学び続けたいと、思っています。翻訳の仕事については、私がないと意思の疎通が出来ないので、やりがいがあり、面白い仕事です。それ以外にも、同僚と病院に行ったり、銀行に行ったり役に立っています。将来、日本の物語をインド語に訳して一冊の本を出したいと思っています。

交流会で、日本語が学べるのが嬉しいです。日本の国自体が一つの教科書だと思っています。日本のいろいろなところへ旅行して勉強したいと思います。

- ・女性で、酒・たばこを嗜む人もいてびっくり、インドではこのような人は、ほとんどいません。
- ・日本では一人でも安全に旅が出来るがインドで一人旅は危険。  
**以上、インドと違う点を述べたが、同じことも多い**
- ・年長者を尊敬すること。
- ・「お世話になります」という言葉はインドでもよく使う。
- ・若い人が着物を着なくなって、晴れの日に一人で着ることが出来ない。これはインドでも同じ、民族衣装を一人で着ることが出来ない人が多い、私もサリーを一人で着ることが、出来ません。

大田原国際交流会

大田原市本町1-2716-5  
(大田原市生涯学習センター内)

TEL/FAX 0287-22-5353

E-mail [oifa@nas.ne.jp](mailto:oifa@nas.ne.jp)

<http://www13.nas.ne.jp/oifa/>

編集部 (50音順)

大久保愛子 唐橋洋子 栗原敏子